



インドネシア共和国 JICA看護実践能力強化プロジェクト2016

老年看護分野の研修を行いました

2016年7月29日、インドネシア共和国から行政職員・看護師・看護大学教員の方々20名が来日され、本学で1日研修を行いました。この研修は、国際協力機構JICA・日本赤十字九州国際看護大学・国立看護大学校が協働で担当するプロジェクトの一環です。

研修員は7月27日から8月12日まで日本で研修を行い、老年看護分野の高度な継続教育カリキュラムの開発をめざしたアクション・プランも検討しました。



本学研修の開会挨拶
(大学校長 井上)



講義「高齢者の地域生活施設の特徴と看護師の役割」
(老年看護学教授 綿貫・林)



国際交流セミナー「インドネシア共和国における高齢者の現状と看護の展望」
(インドネシア共和国保健省 家族保健局長リナ氏)



講義・セミナーに参加する研修員と学生・教職員



通訳 丹氏・江口氏

午後は、10名ずつの2グループに分かれ、清瀬市・東久留米市にある介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・グループホームを見学しました。

講義および見学を通じて、研修員は積極的に質問を行い、施設で生活する高齢者に必要なケアのあり方や、看護の役割を理解し、今後のインドネシア共和国における老年看護の方向性について示唆を得ることができました。

見学でお世話になりました施設の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

(老年看護学分野)